

2021年3月期（第52期）決算補足説明資料

テナライド株式会社
2021年 5月31日

I N D E X

■2021年3月期の業績動向について

- ・ 店舗状況
- ・ 経営成績に関する状況
- ・ 財政状態に関する状況
- ・ キャッシュ・フローに関する状況

■2022年3月期の見通しについて

店舗状況①—店舗の状況

※関東のF Cのレストラン業態 1 店舗及び居酒屋業態 1 店舗を含みます。

【業態別】	前期末	新規出店数	閉鎖店舗数	業態変更数	増減	当期末
居酒屋業態	8 3 店舗	1 店舗	1 4 店舗	3 店舗	△ 1 3 店舗	7 0 店舗
旬鮮酒場天狗	1 9 店舗	— 店舗	3 店舗	— 店舗	△ 3 店舗	1 6 店舗
テング酒場	6 4 店舗	1 店舗	1 1 店舗	3 店舗	△ 1 0 店舗	5 4 店舗
(内 ランチ営業店)	6 4 店舗	— 店舗	1 1 店舗	3 店舗	△ 9 店舗	5 3 店舗)
レストラン業態	3 3 店舗	— 店舗	2 店舗	1 店舗	△ 2 店舗	3 1 店舗
和食れすとらん天狗	3 3 店舗	— 店舗	2 店舗	1 店舗	△ 2 店舗	3 1 店舗
合計	1 1 6 店舗	1 店舗	1 6 店舗	4 店舗	△ 1 5 店舗	1 0 1 店舗

※「テング酒場」に「神田屋」6 店舗、「ミートキッチン log50」2 店舗を含みます。

※「和食れすとらん天狗」に「あげてけや」を含みます。

※居酒屋業態のランチ営業店の増減については、当期のランチ営業の開始・終了の件数をカウントしています。

【地域別】	前期末	新規出店数	閉鎖店舗数	業態変更数	増減	当期末
合計	1 1 6 店舗	1 店舗	1 6 店舗	4 店舗	△ 1 5 店舗	1 0 1 店舗
関東	1 0 0 店舗	1 店舗	1 4 店舗	4 店舗	△ 1 3 店舗	8 7 店舗
関西	6 店舗	— 店舗	1 店舗	— 店舗	△ 1 店舗	5 店舗
中部	1 0 店舗	— 店舗	1 店舗	— 店舗	△ 1 店舗	9 店舗

※なお、地域については当社の管理区分により分類しております。

店舗状況②ー新店及びリニューアル店について

1. 当期の新規出店状況について

神田屋 新宿3丁目末広通り店



2020.12.16OPEN

「log50 新宿3丁目店」と同じビル内に神田屋3号店として開店。

【営業時間】

月～土曜日:12:00-24:00

日・祝日:12:00-22:00

※コロナ過の影響により休業・時間短縮営業をする場合があります。

2. 当期のリニューアル店状況について

あげてけや 鶴ヶ島若葉店



2021.3.8OPEN

「和食れすとらん天狗 鶴ヶ島若葉店」を一部改装し、新業態「あげてけや 鶴ヶ島若葉店」を併設。米沢豚を使用した『白いとんかつ』とオーダーごとに炊き上げる『釜焼きご飯』、こだわりの味噌汁が看板商品となっております。

店頭でのテイクアウト商品として「ロースかつ弁当」や「ロースかつサンド」も販売しております。



神田屋3店舗：ニュー大宮店、池袋西口店、田町店



ニュー大宮店

2021.3.8PEN

「テング酒場」からの業態変更

池袋西口店

2021.3.18OPEN

「テング酒場」からの業態変更

田町店

2021.3.25OPEN

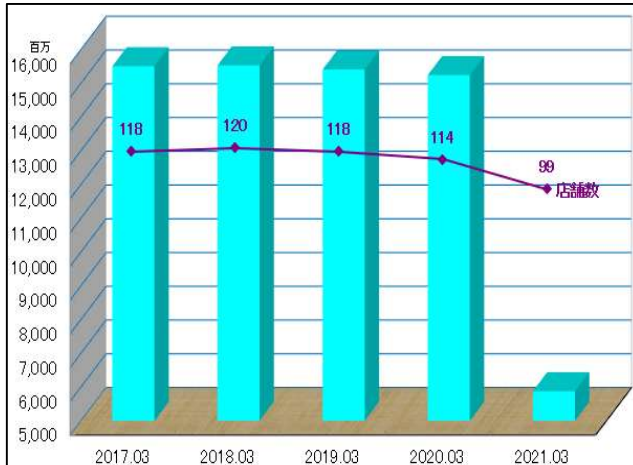
「テング酒場」からの業態変更

経営成績に関する状況①－概況（連結）

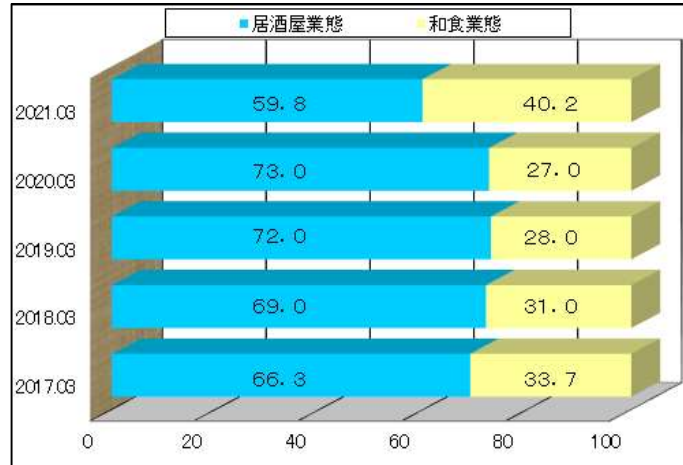
連結実績（百万円）	前期（2020.3期）	構成比%	当期（2021.3期）	構成比%	増減率%
売上高	14,567	100.0	5,951	100.0	△59.1
売上原価	4,011	27.5	1,970	33.1	△50.9
売上総利益	10,555	72.5	3,980	66.9	△62.3
販管費	10,863	74.6	8,630	145.0	△20.5
営業利益	△307	△2.1	△4,650	△78.1	△1412.0
営業外収益	48	0.3	113	1.9	131.5
営業外費用	26	0.2	60	1.0	128.7
経常利益	△285	△2.0	△4,597	△77.3	△1513.0
特別利益	4	0.0	8	0.1	113.8
特別損失	515	3.5	553	9.3	7.3
税金等調整前当期純利益	△796	△5.5	△5,141	△86.4	△545.5
当期純利益	△845	△5.8	△5,168	△86.8	△511.1
1株当り当期純利益	△32円34銭		△196円75銭		
自己資本当期利益率	△17.5%		△200.9%		
総資産経常利益率	△3.3%		△61.6%		

経営成績に関する状況②ー売上高（店舗売上ベース（連結））

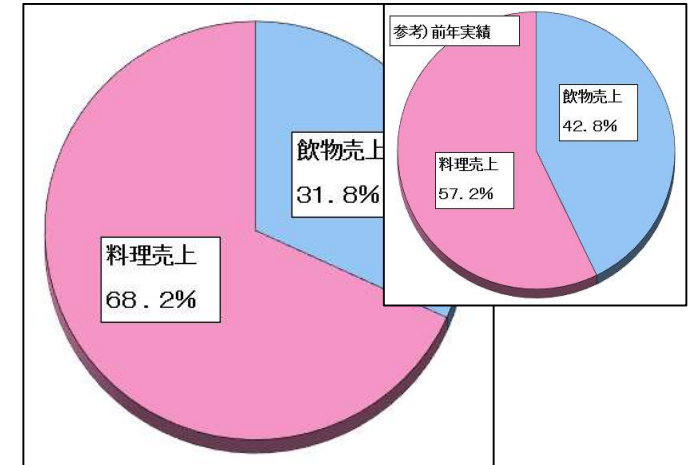
I. 売上実績推移



II. 業態別売上構成比



III. 品種別売上構成比



●売上高について（資料Ⅰ）

新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の発出・延長、感染拡大防止に向けた休業要請や外出自粛要請により来店客数は激減し、売上高は大幅に減少しております。

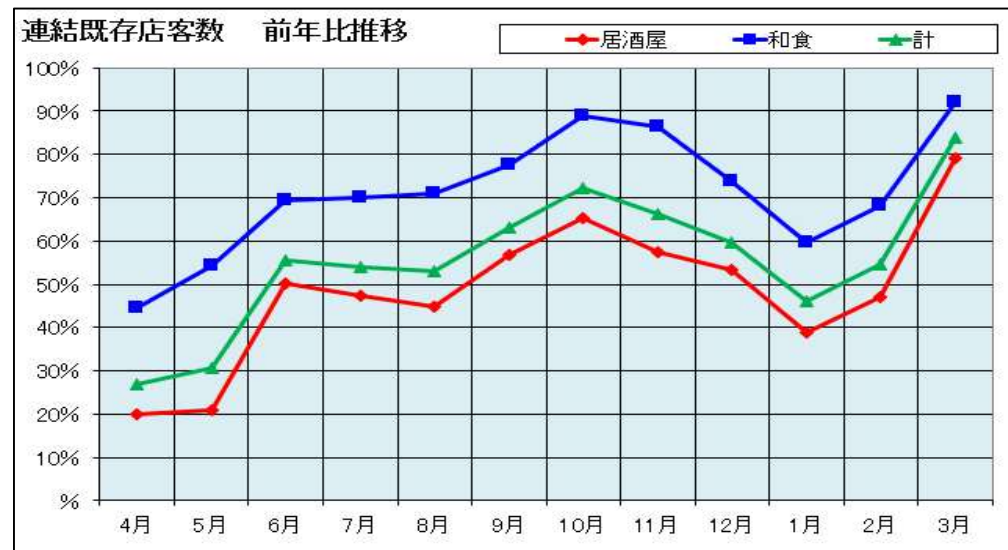
●業態別売上構成比について（資料Ⅱ）

緊急事態宣言の下、時間短縮営業要請や飛沫感染への懸念から居酒屋業態のディナーの客数が大幅に減少したこと、加えて、閉店店舗が居酒屋業態に集中したことにより和食業態の売上構成比が増加しております。

●品種別売上構成比について（資料Ⅱ・Ⅲ）

和食業態の売上構成比の増加により料理の売上構成比が増加しております。

経営成績に関する状況③ー連結既存店売上の推移



既存店の条件：同月のフル稼働店舗のみを対象（リニューアル期間は除く）
居酒屋業態で実施しているランチ売上も含む。

客単価（上記条件で抽出）

居酒屋業態	前期平均	当期平均	増減率
旬鮮酒場天狗	1, 8 5 9 円	1, 3 1 3 円	△ 2 9, 4 %
テング酒場	1, 6 0 4 円	1, 2 5 3 円	△ 2 1, 9 %
和食業態	前期平均	当期平均	増減率
和食れすとらん天狗	1, 4 8 4 円	1, 3 0 2 円	△ 1 2, 3 %

●売上・客数について

新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた緊急事態宣言等の影響により大幅に売上・客数は減少しております。食事の需要はあったため、前年比率において和食業態が居酒屋業態を上回っております。

●客単価について

新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた緊急事態宣言等に伴う国・地方公共団体からの外出自粛要請等により、ディナーの来店客数が激減し客単価は大幅に下がっております。特に居酒屋業態の宴会需要減が大きく影響しております。

経営成績に関する状況④ー原価、経費等（連結）

売上原価	前期構成比率：27.5%	当期構成比率：33.1%	構成比率増減：+5.6p t
------	--------------	--------------	----------------

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う外出自粛によるディナーの客数減少、特に居酒屋業態での飲物比率が減少したことにより原価率は大きく上昇しました。加えて、外販事業の拡充・拡大やデリバリーの導入により料理売上比率が上昇したことも影響しております。

人件費	前期構成比率：41.0%	当期構成比率：74.8%	構成比率増減：+33.8p t
-----	--------------	--------------	-----------------

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う緊急事態宣言等により休業・時間短縮営業をしたこと、加えて他社への出向等諸施策を講じたことにより前年に対し15億14百万円減少しましたが、売上の回復が伴わず人件比率は大幅に上昇しております。

他 販管費	前期構成比率：33.6%	当期構成比率：70.2%	構成比率増減：+36.6p t
-------	--------------	--------------	-----------------

賃料交渉による減免、水光熱関連契約の見直し及び業者変更による関連経費削減、加えて配送見直しによる運搬費削減、閉店数の増加、資本金減少による事業税の減少等により7億18百万円減少しておりますが、売上の回復が伴わず販管費率は上昇しております。

営業外収益・費用	(収益)： 当期実績	1億13百万円(前期比	64百万円 増加)	※主に雇用調整助成金、感染拡大防止協力金
	(費用)： 当期実績	60百万円(前期比	33百万円 増加)	

特別利益・損失	(利益)： 当期実績	8百万円(前期比	4百万円 増加)	※主に減損損失、店舗閉鎖損失引当金
	(損失)： 当期実績	5億53百万円(前期比	37百万円 増加)	

財政状態に関する状況

※前期末との対比

連結実績（百万円）	前期末（2020.3期）	構成比%	当期末（2021.3期）	構成比%	増減額
流動資産	2,121	25.5	2,636	40.0	515
有形固定資産	2,259	27.1	1,808	27.5	△451
無形固定資産	84	1.0	43	0.7	△41
投資その他	3,869	46.4	2,097	31.9	△1,772
固定資産	6,213	74.6	3,950	60.0	△2,263
資産 合計	8,334	100.0	6,586	100.0	△1,748
流動負債	2,432	29.2	4,266	64.8	1,834
固定負債	1,495	17.9	1,582	24.0	87
負債 合計	3,927	47.1	5,848	88.8	1,921
純資産 合計	4,407	52.9	738	11.2	△3,669
負債・純資産 合計	8,334	100.0	6,586	100.0	△1,748
1株当り純資産	168円51銭		26円83銭		
自己資本比率	52.9%		11.2%		

【資産の主な増減】

- 現預金の増加
- 未収入金（店舗閉鎖等による敷金）
- 店舗閉鎖及び減損処理に伴う固定資産の減少
- 新規設備投資に伴う固定資産の増加（CK設備、新店・リニューアル）

【負債・純資産の主な増減】

- 短期借入金の増加
- 長期借入金の返済による減少
- リース債務の減少

キャッシュ・フローに関する状況

連結実績	前期 (2020.3期)	当期 (2021.3期)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1 6 1 百万円	△ 3, 5 2 2 百万円	△ 3, 8 6 3 百万円
(主な増減)			
税金等調整前当期純損失	△ 7 9 6	△ 5, 1 4 1	△ 4, 3 4 5
減価償却費	4 6 8	4 6 3	△ 5
減損損失	4 4 7	3 9 4	△ 5 3
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	1 1 8	2 5 0	△ 1 3 2
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△ 1 0 0	5 1 3	6 1 3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3 8 5 百万円	4 2 0 百万円	8 0 5 百万円
(主な増減)			
有形固定資産の取得による支出	△ 3 3 9	△ 5 7 8	△ 2 3 9
敷金・保証金の回収による収入	6 3	1, 0 8 2	1, 0 1 9
財務活動によるキャッシュ・フロー	1 5 1 百万円	3, 2 7 7 百万円	3, 1 2 6 百万円
(主な増減)			
株式の発行による収入	0	1, 4 9 9	1, 4 9 9
短期借入れによる収入	△ 2 0 5	2, 0 0 0	1, 5 0 0
現金 (同等物) の増減額	△ 7 2 百万円	1 7 5 百万円	2 4 7 百万円
現金 (同等物) の期首残高	1, 4 2 1 百万円	1, 3 4 9 百万円	△ 7 2 百万円
現金 (同等物) の期末残高	1, 3 4 9 百万円	1, 5 2 4 百万円	1 7 5 百万円

2022年3月期（通期）の見通し

連結（百万円）	2021.3月期 （実績）		2022.3月期 （見込）		増減
売上高	5,951	100.0	未定		
売上総利益	3,980	66.9			
営業利益	△4,650	△78.1			
経常利益	△4,597	△77.3			
当期純利益	△5,168	△86.8			
1株当たり当期純利益	△196.75円				

売上について

新型コロナウイルス感染症の収束時期が不透明なため、業績に与える不確定要素が多く、現時点では業績予想を合理的に算定することは困難な状況であります。

こうした状況の中、現状の外出ニーズを捉え、【外販事業】の拡充・拡大による本格的な小売業へ参画、【宅配サービス】の強化を追求し売上向上を図って参ります。

経費について

売上と同様に不確定要素が多く、合理的に算出することが困難な状況であります。

【設備投資（予定）】

■設備投資予定額：未定

新型コロナウイルス感染症の収束時期が不透明なため、現時点では見通しが立てられない状況であります。